



市制施行 60周年記念 市民提案事業

生ごみのリサイクル ダンボールコンポスト モニター募集

問い合わせ
特定非営利活動法人えこらいふ大竹（中川宅 ☎7568）
環境整備課リサイクルセンター ☎5101

「えこらいふ大竹」では、市制施行60周年市民提案事業として、ダンボールコンポストの活用による生ごみのリサイクルに努め、市全体のごみの減量の推進に取り組みます。
このため、家庭において実際にダンボールコンポストを使用して、生ごみの減量に取り組むモニターを募集します。

ダンボールコンポストって、なに？

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱を利用した、家庭で手軽に取り組める生ごみ処理する方法です。ダンボールの中に、竹パウダー、もみ殻くん炭という園芸材料を入れ、その中に生ごみを投入し、よくかき混ぜます。そうすると、ダンボールコンポストの中の生ごみは、目に見えない微生物の力で分解され、良質な「堆肥」に生まれ変わります。ダンボールコンポストを使ってできた堆肥は、化学肥料を使わない安全な有機肥料として、家庭菜園やプラン

ターなどで使用できます。特別な容器や機械を購入する必要がなく、経済的に生ごみのリサイクルによるごみの減量化が進められます。



園芸用土の入ったダンボールコンポストに、生ごみを投入した状態。

募集内容

- 対象 市内在住の方（経験は問いません）
- 募集人数 40人（申込順）
- 申し込み 12月13日（金）までに電話でリサイクルセンターへ。

活動内容

- 応募された方には、事前に説明会を開催し、ダンボールコンポスト一式を無償で提供します。
- ダンボールコンポストの使用による生ごみのリサイクルの実践に、原則、3カ月間取り組んでもらいます。
- 3カ月間の取り組み内容を、所定の様式で報告してもらいます。

生ごみが堆肥に大変身 今日からあなたも エコライフ

ダンボールコンポストの普及に取り組んでいる、ダンボールコンポスト・アドバイザーの黒田孝士さんにお話を伺いました。

ダンボールコンポストは、超環境にやさしい生ごみ処理方法です。数カ月間、生ごみをダンボール箱の中に入れて続けても中身は増えず、立派な「堆肥」に変身するという優れものです。まるで魔法のような話ですが本場で、しかも毎日、生ごみを処理しますから、生ごみのあのいやな腐敗臭はしません。

私たち「えこらいふ大竹」は、平成19年から普及活動に取り組んでいます。実践された方で堆肥の利用が

できない方に対して堆肥の引き取りも行っていますが、毎日、世話をしていると愛着がわくらしく、なかなか譲ってもらえません。
ぜひ、この機会に挑戦してみてください。



環境にやさしいダンボールコンポストの魅力を熱く語ってくださった、黒田さん。